

令和元年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修【学習プログラム研修】（第2回）受講者振り返りアンケート集計

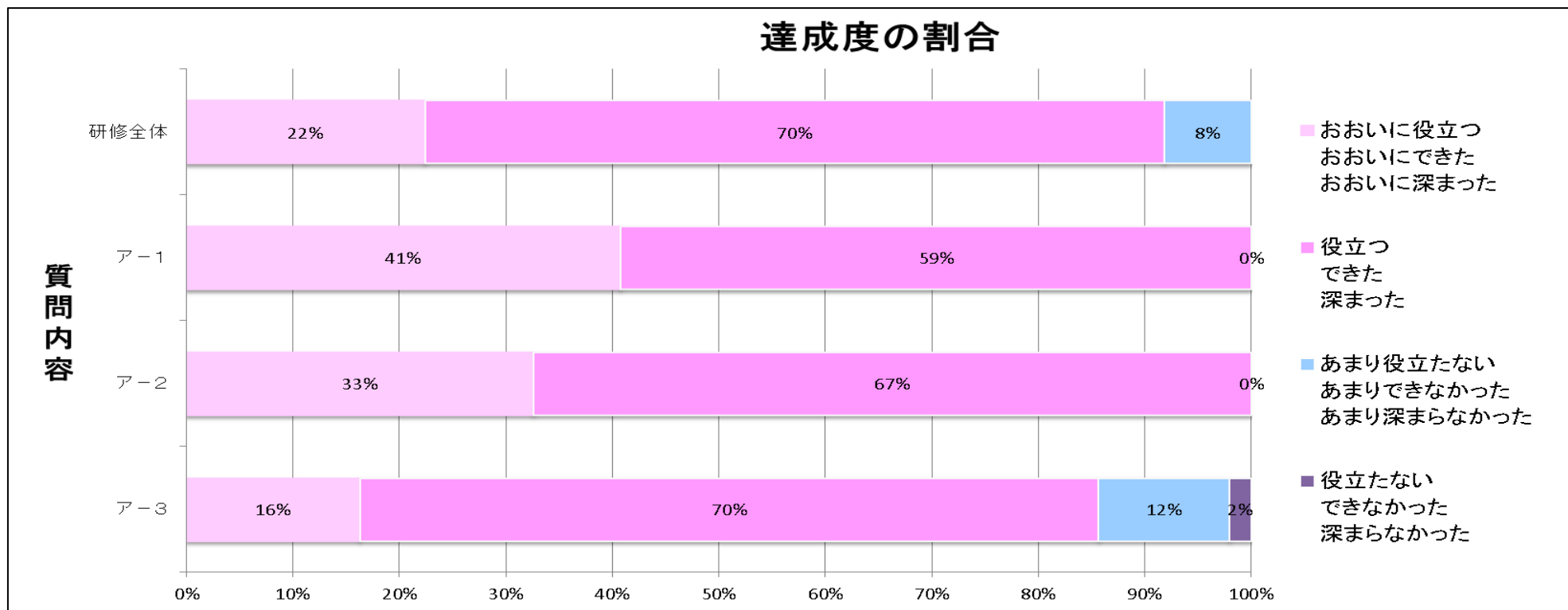
<質問内容> 研修全体：今回の研修で学んだことは、明日からの仕事に役立つものになりましたか。

ア－1：講義・演習「学習プログラム開発の実際Ⅱ」

グループのメンバーと協働し、意見や考えの違いを乗り越えながら、課題解決に取り組むことができましたか。

ア－2：学習プログラム開発のポイントを踏まえて、実際にプログラムを改善（リデザイン）することができましたか。

ア－3：学習プログラム開発におけるPDCAサイクルの意義や手法について理解することができましたか。

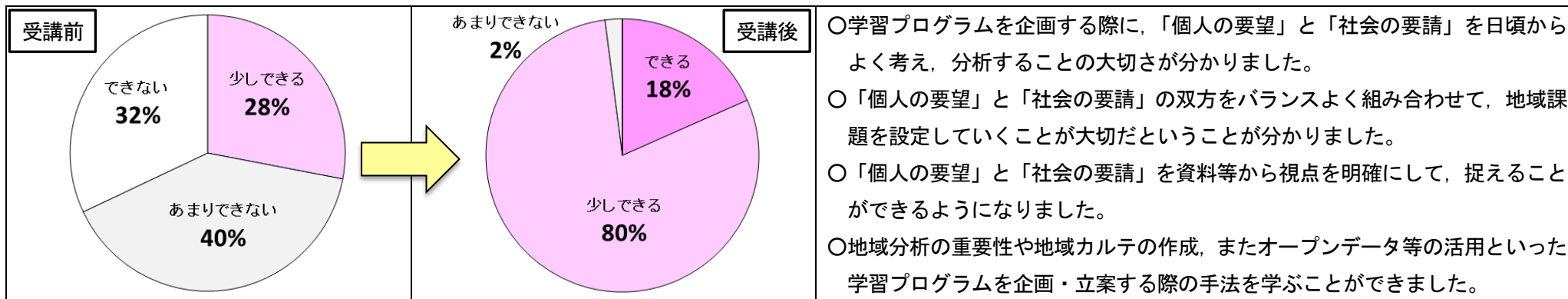


【「今回の研修を通しての感想・意見」などの記述から】

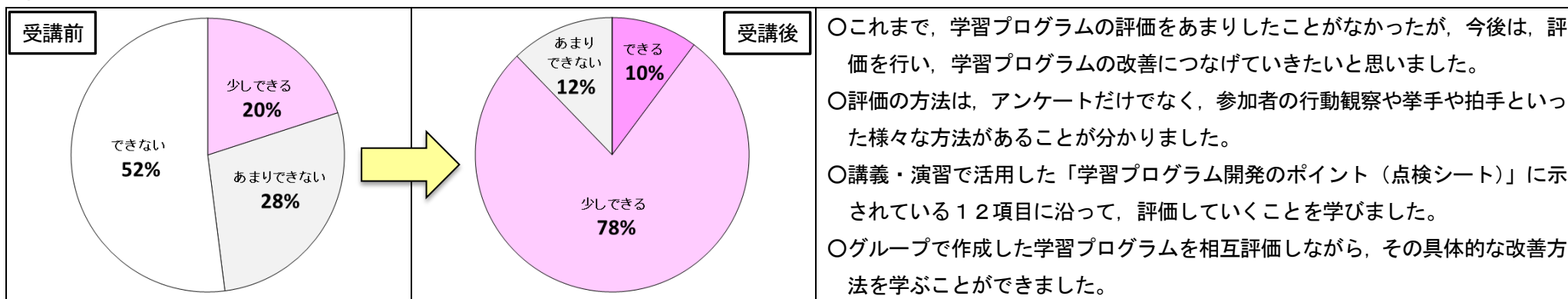
- 「個人の要望」と「社会の要請」を踏まえて、地域課題から学習目的や学習目標を整理していくことの大切さや難しさを体系的に学ぶことができました。
- 学習プログラムの開発は初めてでしたが、主催者側、参加者側の双方の視点から事業を立案し、改善していくことの大切さが分かりました。
- これまでは、学習目的や学習目標が曖昧なままの学習プログラムを考えていましたが、今後は研修で学んだことを生かして開発していきたいです。
- 学習プログラムの相互評価によって、他のグループの方から改善案をいただいたことで、それらを踏まえながら、より良い内容にリデザインすることができました。
- 各シートに沿って、段階を経ながら学習プログラムを組み立てていったので、自分の理解度を確認しながらその成果を反映することができました。

【研修受講前（事前アンケート）と受講後の状況】

①「個人の要望」と「社会の要請」のバランスがとれた学習プログラムを企画・立案することができる。



②学習プログラムを評価することができる。



③多様な主体と連携・協働しながら、業務を推進していくことができる。

